

持ち上げない介護の重要性 職場における腰痛予防対策を考える勉強会

平成28年3月29日(火)17時30分～18時30分
アビリティーズ・ケアネット株式会社 第一総合事業部 本店営業所 講師:鈴木進子様・田村聖実様
場所=パール福祉総合プラザ1階地域交流ロビー

アビリティーズ・ケアネット株式会社主催の『持ち上げない介護の重要性 職場における腰痛予防対策を考える』勉強会をパールにて開催(職員40名参加)いたしました。

最初にアビリティーズの鈴木様より『職場における腰痛予防対策指針』についてご説明いただきました。

平成6年に『職場における腰痛予防対策指針』が出され、平成25年6月に厚生労働省が19年ぶりに改訂され、『福祉用具(機器・道具)を積極的に使用すること。』が新たに追加されました。

また、職場における腰痛発生は、移乗介護によるものが大半であり、特にベッドから車いすへの移乗により腰痛発生が70%を占めています。移乗介護による腰痛発生を予防するために3種類の福祉用具をご紹介します。

①床走行リフト サンリフトミニ

4つの車輪で床を移動でき、車いすからベッドへの移乗を行うリフトです。



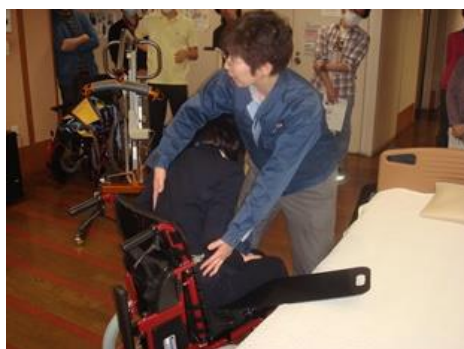
②移乗リフト ささえ手

端座位から無理なく半立位へ誘導し、車いすから介護ベッドへの移乗を行うリフトです。



③移乗用 イージーグライド

シートを車いすからベッドへ設置し、腰をのせシートの上をスライドさせて移乗します。



パールにおいても職員一人ひとりが福祉用具の知識の向上並びに福祉用具を積極的に使用し、ご利用者・介護者ともに無理のない移乗介護を行い、職員の腰痛予防を目指していきます。